

コロナ模擬接種で課題の検討を



みずの ちよこ 議員
水野 千代子



消防署で行い必要があれば他も



4月9日
新型コロナウイルスワクチン集団接種シュミレーション

問 新型コロナウイルスの先行接種が開始された。本町の接種が円滑に行われるように取り組みを問う。

答 コロナの模擬接種を行い課題の検討を。

問 健康福祉部長▼消防署でシミュレーションを行い、必要があれば他の会場も行う。集団接種、個別接種のメリットを

答 リットは。集団は効率的だがワクチンの供給状況を見て対応。個別はかかりつけ医で体の状態がわかるが、待機場所が確保できない。

問 接種券・予診票の多言語対応を。対象者は。接種後のアフターフォローを想定して、接種施設にエビペン備蓄を。

答 16歳以上は1224人で外国語版を作成する。会場に各1本ずつ用意する。

問 接種後のアフターフォロー体制強化を。

答 ワクチンの接種履歴作成に取り組み。副反応が起こった時に対応できるように薬品・備品をそろえ救急搬送する体制をとる。

問 PCR検査の費用補助を。

答 医師会などの意見を聞き対応する。

問 血中酸素計（パルスオキシメータ）を自宅療養者などに貸し出し活用を。

答 西尾保健所で貸与しており、町の貸出しは考えていない。

男女共同参画条例の制定を

条例制定に向け取り組みたい

問 第2次幸田町男女共同参画プランに明記されているLGBTに関する取り組みは。

答 企画部長▼町に提出する様式の男女性別欄の削除やLGBTの講演会を開催した。研修会・パネル展示などで理解促進を。

問 男女共同参画啓発パネル展示や啓発チラシで理解促進に努める。

答 多様性を認め合うため、中学校で制服の選択制が全国で広がっている自治体は。その考えは。

答 教育部長▼県内犬山市の全中学校、豊橋市の全中学校。保護者負担を伴うため考慮して検討していきたい。

教育長▼先進地の課題など検討し、子どもたちと話し合って決めて

いくべきなので慎重に対応していく。

問 男性職員の育休取得の現況は。

答 総務部長▼対象11人のうち1人が取得。9.1%の取得率。

問 「男性版産休」が創設される。出産直後の奥さんを支えるために、男性職員の育休取得がしやすい環境整備を。

答 町の目標は16%であり、達成するため育休を取りやすい環境、各職場の業務調整や代替要員の確保などが必要と認識している。

問 男女共同参画プランの目標値を進めるため、多様性を認め合う社会を築くために、幸田町男女共同参画条例の制定を。

答 町長▼第3次プランの策定に沿った条例制定に向け取り組みを始めたい。



ひろの ぶさお
廣野 房男 議員

歴史祭りで全国にアピールを

関係部局と調整していく



夏目吉信を慕って現れた甲冑武者隊 (六栗西山)

幸田町は、歴史と文化を大切にしている町である。歴史を全面に出し、全国自治体との交流で町のイメージアップもできる。他市町との交流は、町の看板を背負ってやってこそ意義がある。町の見解を問う。

問 彦左まつりの在り方や、別の方法を考えているのか。
答 環境経済部長 ▼ 基本的に大きく変

問 更なる考えはないが、マンネリ化も否めず、少し変更も視野に入れておくべき、という考えもある。
答 町内の歴史的人物を取上げ、幸田歴史まつりと銘打って、

問 町内の歴史的人物を取上げ、幸田歴史まつりと銘打って、

答 教育部長 ▼ イベント開催に当たり、根拠たる歴史的裏付け

を整え、関係部局と調整していく必要がある。
問 幸田町の文化財指定の基準は。

答 幸田町文化財保護条例第2条及び4条に基づき、指定している。

問 奥三河町村との交流にも、歴史分野を含めてはどうか。

答 企画部長 ▼ 歴史的な分野で交流をしていきたい。

問 町長が率先して、幸田の歴史・文化を近隣市町のみならず、全国に知らしめる役目も果たして頂きたい。

答 町長 ▼ 様々な意味で参考になる話であったので、ぜひ活かしていきたい。

奥三河との交流で里山の開発を

友好の森事業等を活用していく

幸田町と、設楽町、東栄町、豊根村の奥三河三町村広域交流事業は、幸田の魅力を発信する絶好の機会である。交流を軌道に乗せ、未来永劫継続して行く事を望む。

問 当事業の内容を周知させるべきガイドブックは、いつ町民に配布出来るのか。

答 企画部長 ▼ 令和3年の夏頃までには配布できればと思っている。関係機関を通じて、広く住民に配布する。

問 奥三河から、幸田に来てもらえるような、新たな政策はあるのか。

答 町の行事である夏祭りや産業まつり、

問 里山整備活動で、直接県の林務課などに指導や相談を持ちかけてもよろしいか。

答 環境経済部長 ▼ 県に直接相談して何ら問題はない。しかし、情報共有の為、町にも連絡してもらいたい。

問 町の組織の中に、林業関連の担当部署を設置出来ないか。

答 総務部長 ▼ 現状では職員1人分の業務量はないと見込み、配置していない。今後必要との判断の上、要望が出された場合は設置を検討する。

問 奥三河との交流で里山の開発を。

答 町長 ▼ 友好の森事業や教育交流、緑のふるさと協力隊事業などの交流事業を通して、活用する場面につながると思います。